

**User's
Manual**

POWERCERT
PC parameter setting tool
ユーザーズマニュアル
(PR300, UPM100, UPM101)



IM 77C01Y01-01

はじめに

このたびは、電力モニタをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本マニュアルは、電力モニタ設定ツールの Windows でのセットアップと基本的な使い方について説明したものです。ご使用前に本マニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになったあとは、必要なときにすぐにご覧になれるところに、大切に保存してください。

なお、製品の仕様および操作については、製品に添付されているユーザーズマニュアルをご覧ください。

本マニュアルでは、オペレーティングシステムの基本的な操作については説明していません。オペレーティングシステムの基本的な操作は、Windows のユーザーズガイドなどをお読みください。

ご注意

- 本書の内容は、性能・機能の向上などにより、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期していますが、万が一不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが、当社支社・支店・営業所までご連絡ください。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。
- 当社は、ソフトウェアの使用に関して直接または間接に生じるいっさいの損傷について責任を負いません。

著作権

- プログラムの著作権は当社に帰属します。

商標

- 本書で使用している当社製品名またはブランド名は、当社の商標または登録商標です。
- Microsoft, および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe および Adobe Acrobat は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- Ethernet は、米国 XEROX Corporation の登録商標です。
- その他、本文中に使われている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

履歴

- 2006年5月初版発行
- 2008年2月2版発行

POWERCERT
PC parameter setting tool
ユーザーズマニュアル

IM 77C01Y01-01 2 版

目次

はじめに	i
第 1 章 ご使用になる前に.....	1-1
1.1 設定ソフトウェアの概要	1-1
1.2 必要な PC システム環境.....	1-2
1.3 ソフトウェアのインストール.....	1-3
1.4 電力モニタと PC の接続.....	1-5
第 2 章 電力モニタを設定する	2-1
2.1 ソフトウェアを起動する/終了する/バージョン情報を表示する.....	2-1
2.2 電力モニタとの通信方法を設定する.....	2-2
2.3 設定データを受信する/新しいデータを作成する.....	2-3
2.4 電力モニタに設定データを送信する.....	2-7
2.5 設定データを保存する.....	2-11
2.6 設定データを印刷する.....	2-12
第 3 章 積算値を受信する/設定する	3-1

1. ご使用になる前に

1.1 設定ソフトウェアの概要

電力モニタ設定ツールは、下記の機能をもつソフトウェアです。

機能

- ・ 設定パラメータの送受信
- ・ 表示パターンの設定 (PR300のみ)
- ・ オンラインでの積算値の設定とリセット
- ・ 設定内容のファイルへの保存
- ・ 設定内容の編集
- ・ 設定内容の印刷

操作の流れ

本ソフトウェアの操作の流れです。

電力モニタの設定を変更する場合

設定データファイルを変更する場合

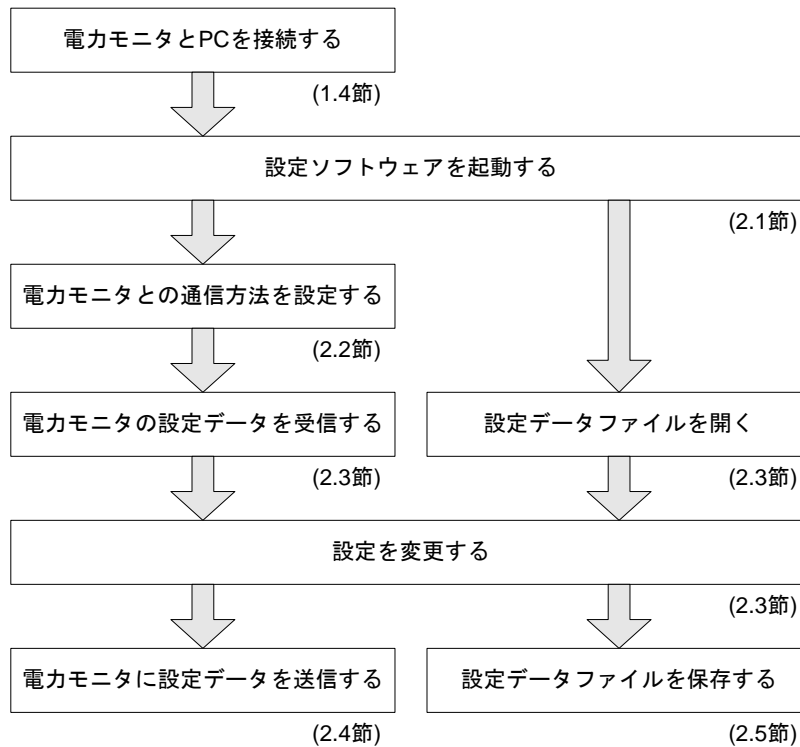


図 1.1 操作の流れ

1.2 必要な PC システム環境

表 1.1 PC システム環境

パソコン本体	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V パソコン)
OS	Windows 2000 Professional (日本語版 : SP2 以降) Windows XP Professional (日本語版 : SP2 以降) Windows Vista Home Premium 32bit 版/Business 32bit 版 (日本語版)
CPU	Pentium III 800MHz 以上を推奨 (Windows 2000 Professional, Windows XP Professional のとき) Pentium IV 3GHz 以上を推奨 (Windows Vista Home Premium/Business のとき)
メモリ	256MB 以上 (Windows 2000 Professional, Windows XP Professional のとき) 2GB 以上 (Windows Vista Home Premium/Business のとき)
ハードディスク空き容量	10MB 以上
通信ポート	オペレーティングシステムに対応した RS-232 ポート (Modbus/RTU のとき), または Ethernet ポート (Modbus/TCP のとき) Modbus/RTU(RS-485)で通信接続する場合は, RS-232/RS-485 通信コンバータを利用 推奨は横河電機製の ML2 RS-232C/RS-485 変換器
ディスプレイ	使用するオペレーティングシステムに対応したディスプレイ 800×600 ドット以上, 32000 色以上 推奨は 1024×768 ドット 65536 色のディスプレイ
プリンタ	使用する Windows システムで使用可能なプリンタ Windows システムに対応するプリンタドライバが必要
その他	本体に接続可能で本ソフトウェアに対応したマウス

1.3 ソフトウェアのインストール

PC の電源を入れ、Windows を起動します。「Administrator」権限で Windows にログインしてください。

インストールする前に、ウイルス防止用などの常駐ソフトは終了してください。

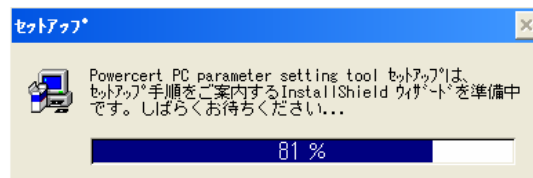
再インストールする場合は、本ソフトウェアをアンインストールしてからインストールしてください。アンインストールは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」でアンインストールします。必要に応じて設定ファイル（拡張子.P3D および.U1D）はバックアップしてください。

セットアップファイルは、以下の URL からダウンロードしてください。

<http://www.yokogawa.co.jp/ns/pr300/download/>

ダウンロード後、圧縮ファイルを解凍し、下記手順に従いセットアップしてください。セットアップは、階層の浅いディレクトリ（例えば C:\Powercert\）で実行してください。

Step1 Setup.exe をダブルクリックします。



Step2 インストールを始めるには「次へ」をクリックします。インストールを行わずに中止する場合は「キャンセル」をクリックします。



Step3 名前、会社名を入力し「次へ」をクリックします。



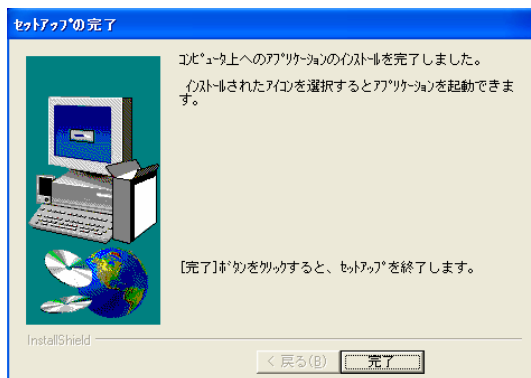
Step4 インストール先（格納場所）を確認し「次へ」をクリックします。インストール先を変更したい場合は「参照」をクリックし、インストールするディレクトリを選択します。



Step5 アイコンのグループ名を設定します。初期値では「Powercert」と設定されています。「次へ」をクリックするとインストールを開始します。



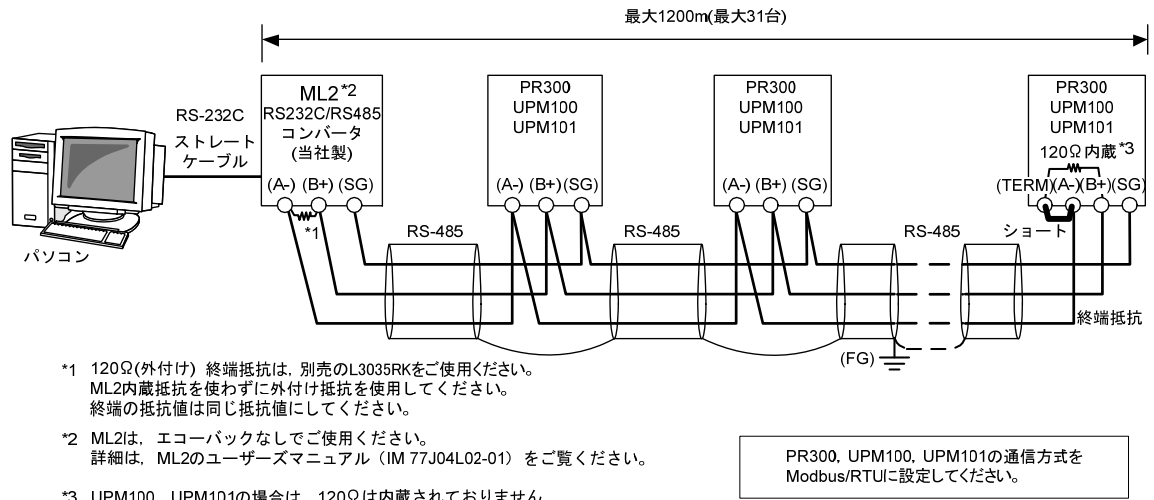
Step6 「完了」をクリックしてインストールを終了します。



1.4 電力モニタと PC の接続

電力モニタと接続する方法は、以下の3つの方法があります。

シリアル通信接続



<注記>
PR300のRS-485通信は、2線方式を採用しています。
SG: SG端子はRS-485通信ラインの信号レベルを合わせるために接続するものです。
FG: シールド線はRS-485通信ラインにおけるノイズ保護のためにすべて接続し、1箇所接地します。

図 1.2 シリアル通信接続例

Ethernet 通信接続 (PR300 のみ)

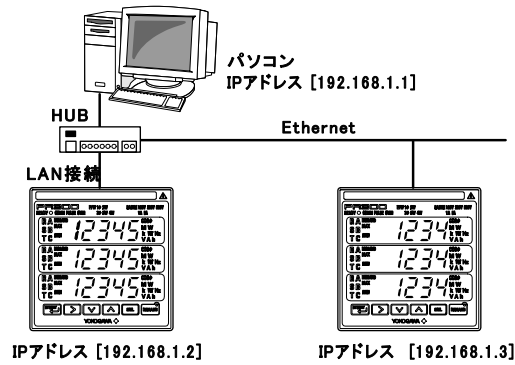


図 1.3 Ethernet 通信接続例

Ethernet-シリアルゲートウェイ機能を使った接続（PR300のみ）

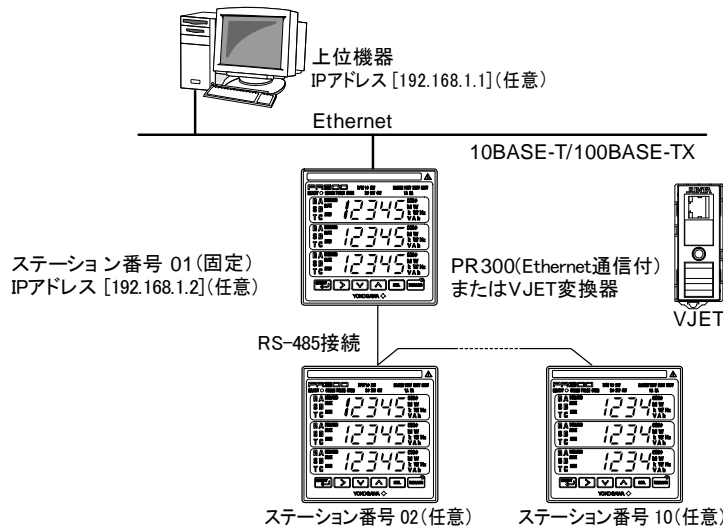


図 1.4 Ethernet-シリアルゲートウェイ機能を使った接続例

接続の詳細については、各製品のユーザーズマニュアルをご覧ください。

UPM100 との接続 UPM100 小形電力モニター 取扱説明書<設置編> IM 77C01H01-01
について 「4. 外部配線」の通信接続を参照。

UPM101 との接続 UPM101 小形電力モニター 取扱説明書<設置編> IM 77C01J01-01
について 「4. 外部配線」の通信接続を参照。

PR300 との接続 PR300 電力モニター スタートアップマニュアル<設置編> IM 77C01E01-02
について の「2.5 その他の配線」または PR300 電力モニターユーザーズマニュアル IM 77C01E01-01 の「1.3 配線する、その他の配線」の通信接続を参照。

各製品の通信端子番号は下表の通りです。

形名	端子記号	A(-)	B(+)	SG
ML2		3	4	5
PR300		18	19	20
UPM100/UPM101		10	9	8

2. 電力モニタを設定する

2.1 ソフトウェアを起動する/終了する/バージョン情報を表示する

各画面の設定項目については、各製品のユーザーズマニュアルをご覧ください。

起動する

スタートメニューの[プログラム]>[Powercert]>[PC parameter setting tool]を選択します。

本ソフトウェアが起動します。



図 2.1 形名及び仕様コード画面 (PR300 の画面例)

終了する

メニューバーの[ファイル]>[終了]を選択するか、[X]をクリックします。設定ソフトウェアのウィンドウが閉じます。

バージョン情報を表示する

メニューバーの[ヘルプ]>[バージョン情報]を選択します。またはツールバーのバージョン情報アイコン(?)をクリックします。

[バージョン情報]ダイアログボックスが表示されます。

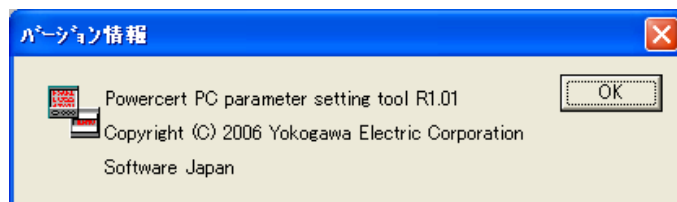


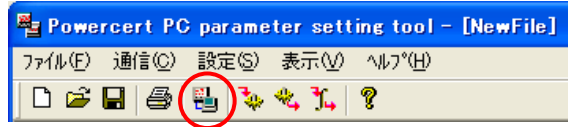
図 2.2 バージョン情報

[OK]をクリックすると、[バージョン情報]ダイアログボックスが閉じます。

2.2 電力モニタとの通信方法を設定する

通信方式として、Modbus/RTU(シリアル通信)と Modbus/TCP(Ethernet 通信)の 2 種類があります。

1. メニューバーの[通信]>[通信設定]を選択します。または下記のアイコンをクリックします。[通信設定]ダイアログボックスが表示されます。



2. 通信方式を選択します。通信設定は機器にあわせ設定します。自動判別を実行する場合は、ステーション番号以外を設定し[自動判別]をクリックします。

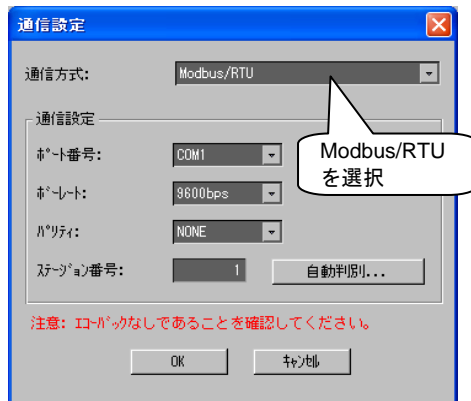


図 2.3 シリアル通信設定画面

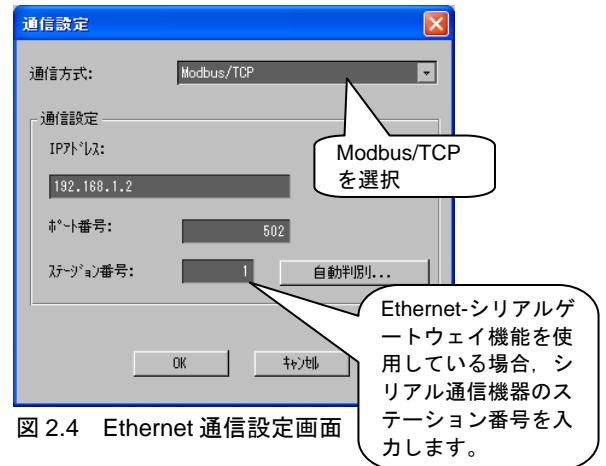


図 2.4 Ethernet 通信設定画面

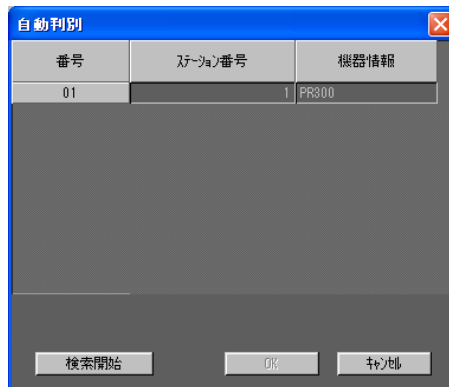


図 2.5 自動判別画面

自動判別

1. [検索開始]をクリック
2. 接続機器が表示されたら設定する機器の番号をクリック
3. [OK]をクリック

3. [OK]をクリックします。

ダイアログボックスが閉じ、PC と電力モニタの通信が可能になります。

[キャンセル]をクリックすると、設定した内容をキャンセルしてダイアログボックスを閉じます。

Note

ソフトウェア起動後に必ず通信設定を確認し、[OK]をクリックしてください。確認後、メニューバーの[通信]>[設定受信] / [設定送信] / [積算値]が選択できるようになります。

2.3 設定データを受信する/新しい設定データを作成する

設定データの作成する方法には、次の3つがあります。

- ・ 電力モニタの設定データを受信する
- ・ 設定データファイルを開く
- ・ 新たな設定データを作成する

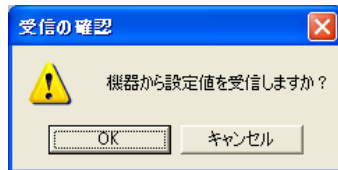
電力モニタの設定データを受信する

下記の操作を行う前に、通信方法や通信パラメータが正しく設定されているか確認してください。詳細については、「2.2 電力モニタとの通信方法を設定する」をご覧ください。

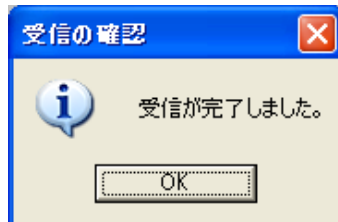
1. メニューバーの[通信]>[設定受信]を選択します。または下記のアイコンをクリックします。受信の確認ダイアログボックスが開きます。



2. [OK]をクリックします。
受信を開始し、受信が終了すると終了したことを告げるメッセージが表示されます。



3. [OK]をクリックします。



4. 受信した設定データが表示されます。

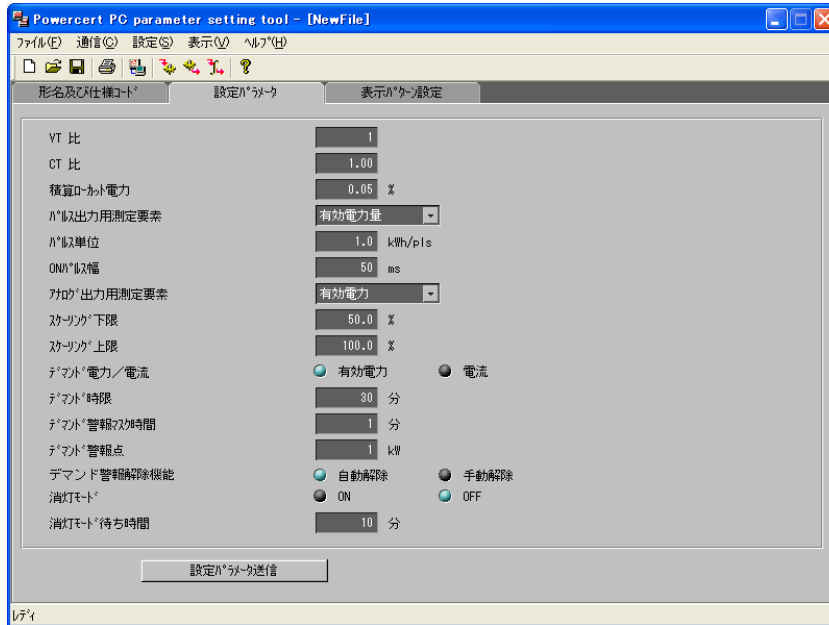


図 2.6 設定パラメータ画面（PR300 の画面例）

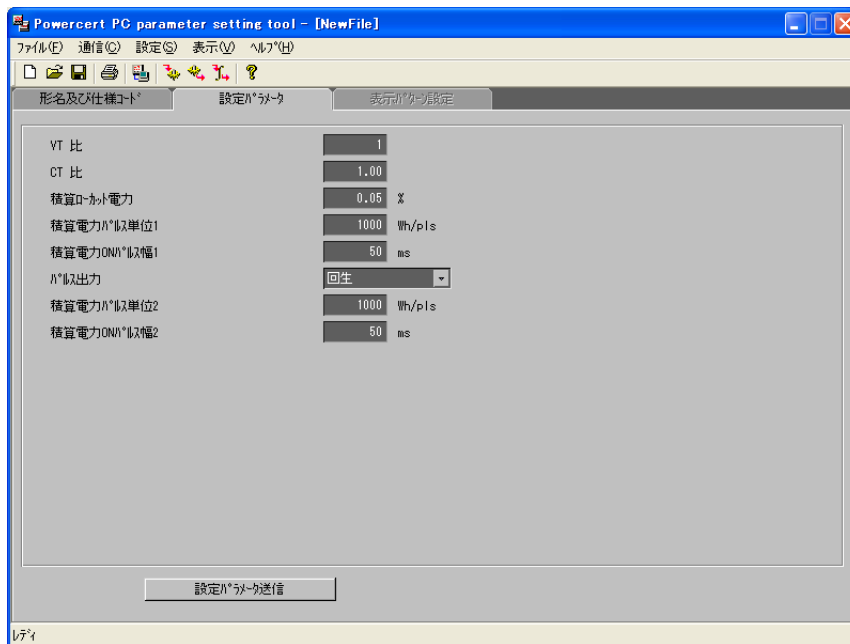


図 2.7 設定パラメータ画面（UPM100/UPM101 の画面例）



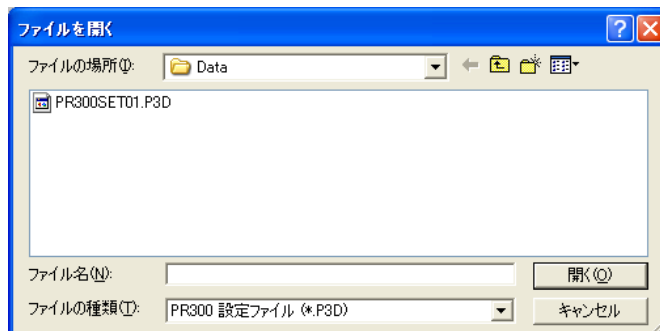
図 2.8 表示パターン設定画面 (PR300 のみ)

設定データファイルを開く

1. メニューバーの[ファイル]>[開く]を選択します。または下記のアイコンをクリックします。[開く]ダイアログボックスが開きます。



2. 目的のファイルを選択し、[開く]をクリックします。設定データが表示されます。



Note

設定データファイルの拡張子は、PR300 の場合「.P3D」、UPM100/UPM101 の場合「.U1D」です。

新たな設定データを作成する

1. メニューバーの[ファイル]>[新規作成]を選択します。または下記のアイコンをクリックします。



2. 電力モニタの機器情報を設定します。
設定した機器情報が間違っていると、正しく設定の送信ができません。



図 2.9 形名及び仕様コード画面 (PR300 の画面例)

2.4 設定データを送信する

設定データを送信する方法には、次の4つがあります。

- ・ 入力パラメータを送信する (PR300 のみ)
- ・ 設定パラメータを送信する
- ・ 表示パターン設定を送信する (PR300 のみ)
- ・ 一括送信する (入力パラメータ, 設定パラメータ, 表示パターン)

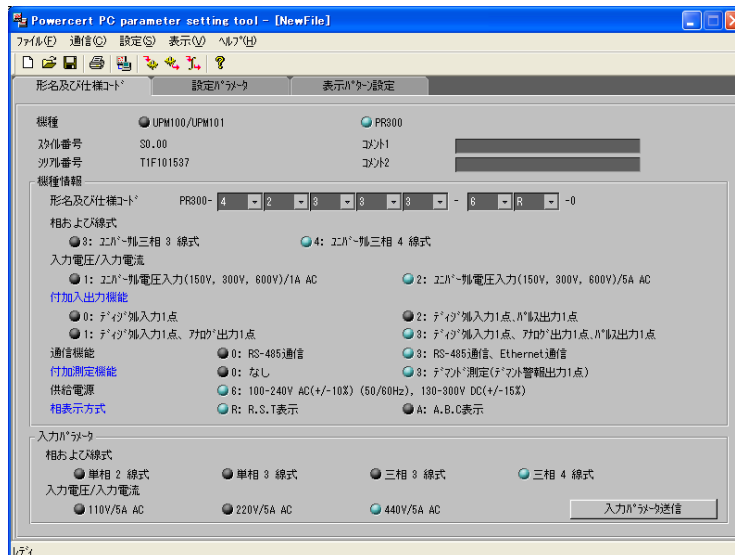
Note

設定データを送信するには、正しい通信設定と機器情報が設定されている必要があります。

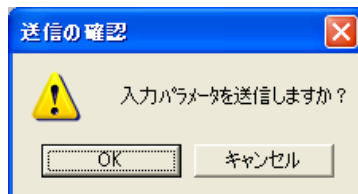
入力パラメータを送信する (PR300 のみ)

機器に入力パラメータデータのみを送信します。

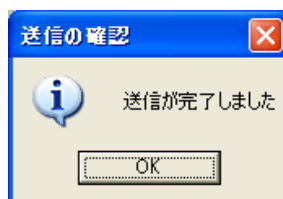
1. 入力パラメータを設定し、[入力パラメータ送信]をクリックします。
[送信の確認]ダイアログボックスが開きます。



2. [OK]をクリックします。
送信を開始し、送信が正常に終了すると終了したことを告げるメッセージが表示されます。



3. [OK]をクリックします。



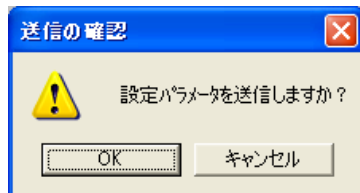
設定パラメータを送信する

機器に設定パラメータデータを送信します。

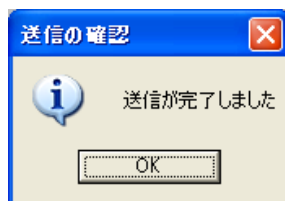
1. 設定パラメータを設定し、**[設定パラメータ送信]**をクリックします。
[送信の確認]ダイアログボックスが開きます。（下図は PR300 の画面例）



2. **[OK]**をクリックします。
送信を開始し、送信が正常に終了すると終了したことを告げるメッセージが表示されます。



3. **[OK]**をクリックします。



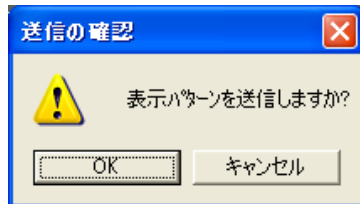
表示パターン設定を送信する（PR300のみ）

機器に表示パターン設定データを送信します。

1. 表示パターンを設定し、[表示パターン設定送信]をクリックします。
[送信の確認]ダイアログボックスが開きます。



2. [OK]をクリックします。
送信を開始し、送信が正常に終了すると終了したことを告げるメッセージが表示されます。



3. [OK]をクリックします。

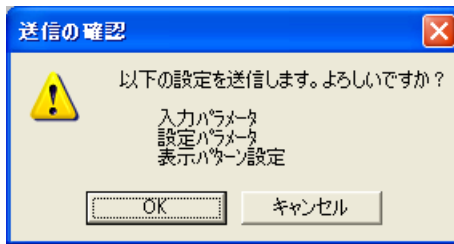


一括送信する（入力パラメータ，設定パラメータ，表示パターン）

1. メニューバーの[通信]>[設定送信]を選択します。または下記のアイコンをクリックします。[送信の確認]ダイアログボックスが開きます。



2. [OK]をクリックします。
送信を開始し，送信が正常に終了すると終了したことを告げるメッセージが表示されます。



3. [OK]をクリックします。



2.5 設定データを保存する

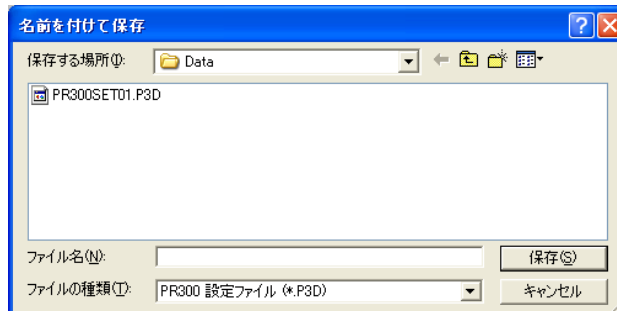
名前を付けて保存

設定データ（入力パラメータ、設定パラメータ、表示パターン）に名前を付けて保存できます。

Note

設定データファイルの拡張子は、PR300の場合「.P3D」、UPM100/UPM101の場合「.U1D」です。

1. メニューバーの[ファイル]>[名前を付けて保存]を選択します。
[名前を付けて保存]ダイアログボックスが開きます。



2. 保存する場所を指定し、ファイル名を入力して[保存]をクリックします。
設定データが保存されます。

上書き保存

メニューバーの[ファイル]>[上書き保存]を選択します。または下記のアイコンをクリックします。設定データが上書き保存されます。



2.6 設定データを印刷する

印刷プレビュー

印刷する前に印刷のレイアウトをみるができます。

[ファイル]>[印刷プレビュー]を選択します。印刷プレビュー画面が開きます。

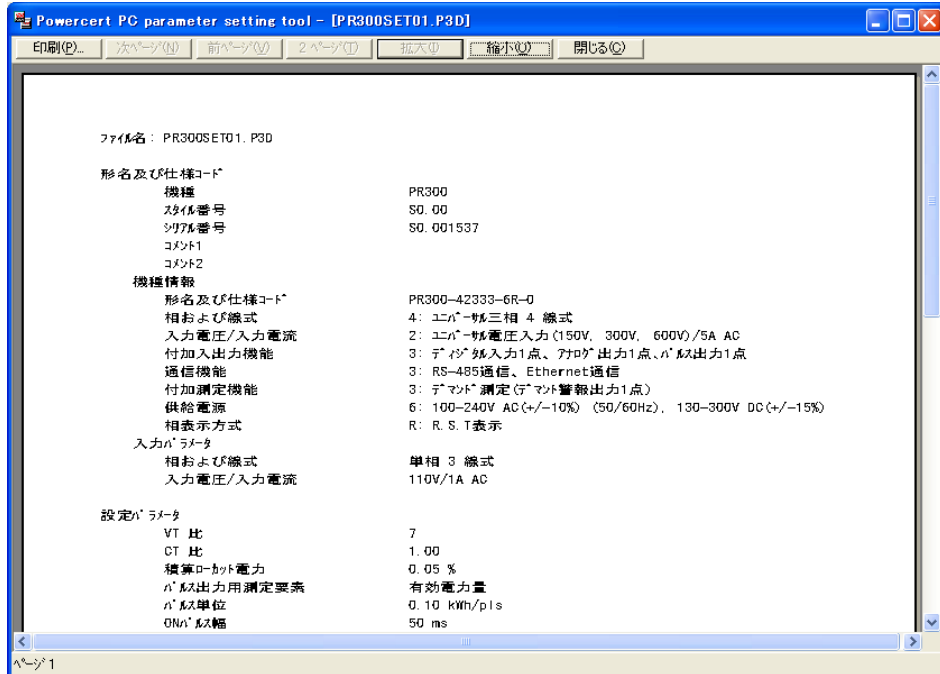


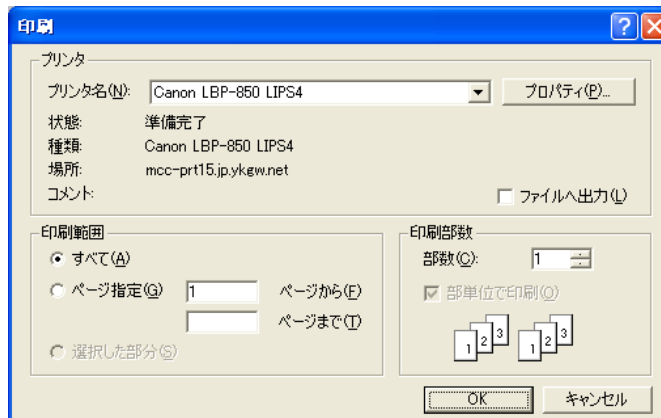
図 2.10 印刷プレビュー画面 (PR300 の例)

印刷

1. メニューバーの[ファイル]>[印刷]を選択します。または下記アイコンをクリックします。[印刷]ダイアログボックスが開きます。



2. [OK]をクリックすると、印刷を実行します。



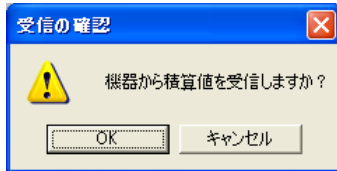
3. 積算値を受信する/設定する

下記の操作を行う前に、通信方法や通信パラメータが正しく設定されているか確認してください。詳細については、「2.2 電力モニタとの通信方法を設定する」をご覧ください。

1. メニューバーの[通信]>[積算値]を選択します。または下記のアイコンをクリックします。受信の確認ダイアログボックスが開きます。



2. [OK]をクリックします。
受信を開始し、受信が終了すると終了したことを告げるメッセージが表示されます。



3. [OK]をクリックします。
受信した設定データが表示されます。



積算値の送信

1. 送信内容をクリック
2. 積算値を送信する場合は積算値を入力
3. [送信]をクリック

図 3.1 積算リセット画面

Note

積算値の設定は、機器に予め設定しておきたい場合に使用します。